

お知らせ

◎アマチュア無線技士国家試験

・第一級・第二級アマチュア無線技士

次の12月期の申請受付は、10月1日(土)から20日(木)まで(消印有効)(インターネットによる申請の受付も同じ)で、試験は第一級アマチュア無線技士が12月3日(土)、第二級アマチュア無線技士が12月4日(日)です。

試験科目は、法規と無線工学で、試験開始時刻は、法規が0930から、無線工学が1300からです。

試験地は、当地からですと、大阪市、広島市、松山市が近いでしょう。日本中どこの試験地で受けても構いません。詳しい受験場所は、受験票で通知されます。

・第三級・第四級アマチュア無線技士

今後の予定は、

近隣の試験地と試験月日	高松	9月 4日(日)
	大阪	9月10日(土)
		11月13日(日)
		12月 4日(日)
	広島	11月13日(日)

受付期間 試験月が9月までのものは、既に先月までに終わっています。

11月のものは、9月1日(木)~20日(火)

12月のものは、10月1日(土)~20日(木)(消印有効)です。

インターネットによる申請の受付期間は、曜日にかかわらず受付月の1日から20日までです。

試験科目および試験開始時刻

法規と無線工学で、開始時刻は受験票で通知されます。

試験地 受験申請書を提出した協会所在地の総合通信局所在地で、詳しい場所は、受験票で通知されます。

ハムフェア2016の開催に合わせて、ハムフェア会場の近くで8月20日(土)に開催される、当日受付即日結果発表の臨時試験については、JARL NEWS 夏号15ページをご覧ください。

今年度の予定については、先号に今年度の試験案内を別項でお知らせしていますので、今後のこと等詳しいことは、先号にある日本無線協会の「平成28年度第一級及び第二級アマチュア無線技士国家試験案内」と、「平成28年度第二級及び第四級アマチュア無線技士国家試験案内」をご覧ください。案内の文字がつぶれていて、よく読めないというご連絡をいただいておりますが、お手数でもJA4KI宛てにSAEをいただければ、協会から来たA4版の案内を縮小する前のものをお届けすることができますので、よろしければどうぞご利用下さい。

(出典 日本無線協会資料 出稿 JA4KI)

◎ハムフェア2016へどうぞ

今年もハムフェアが開催されます。毎年多くのクラブ員が見学されているようですので、今年も多くの方々を見学を期待しています。くわしくは、JARL NEWS 夏号13ページからをご覧ください。もっと詳しくは、「観てのお楽しみ」です。

入場整理券は、一般¥1,500円、高校生以下無料ですが、JARL会員の方は、本人が、会員証(ライフメンバー会員証を含む)の現物を、会場ゲート横の発券窓口で呈示すれば、¥300引きの¥1,200で買えます。この整理券は開催期間の二日間とも有効で、開催中の会場への出入り自由ですので、VYFBです。

東京駅から一番わかりやすく、歩く距離が一番短く、運賃が安く、途中乗り換えがなく、終点から終点までで下車駅の心配をしなくてよいというのは、東京駅南口発着の「都バス 東16系統 東京ビッグサイト行き」に乗り、終点で降りれば、会場入り口が少し先に見えています。当然のことですが、帰りは逆コースで東京駅へ戻れますので、JR山手線や京浜東北線で二つ目の、秋葉原(あきはばら)まで行って、「世界の秋葉原」を楽しむのもよいでしょう。(出稿 JA4KI)

N E W S

◎中国地方ハムの集い2016開催される

今年の中国地方ハムの集いは、岡山県支部が当番になり、今年度の岡山県支部ハムの集いと併せて、JARL倉敷クラブ・鷺羽ハムクラブ・加賀郡ハムクラブなどの協力で、7月24日(日)10時から倉敷市真備町のマービーふれあいセンターの中にある「さつきホール」で、4エリア以外からの参加者も含め約200名が参加して開催されました。

先ず、中国地方本部長・理事 JA4DLF 網島俊昭氏、

次に、岡山県支部長 JH4TYE 平野耕平氏、

JARL会長 JG1KTC 高尾義則氏、

中国総合通信局 無線通信部 陸上課長 佐々木信義氏からそれぞれご挨拶をいただきました。

続いて、昨年度のオール岡山コンテストの表彰式があり、出席している上位入賞者には、賞状や盾が前支部長JR4XEY大崎一郎氏より贈られました。

講演に入り、JH1ROJ 沼口 功氏による「DXパケーションの楽しみ方」と題した講演の後、記念写真の撮影があり、終わってから昼食休憩になりました。

昼食休憩の後には、ex JA7CRJ 千葉秀明氏による「自作の楽しさは、感動の世界!」と題した講演がありました。

次に、JA4KI 吉岡 謙 前JARL社員による「第5回定時社員総会報告」が行われ、最後に「選挙によって選んでいただいた役員だけで、53年11か月もの間務めさせていただいたが、今年で80歳になるので、引かせていただいた。長い間のご支持に感謝申し上げます。」との引退挨拶がありました。

次に、中国総合通信局無線通信部陸上課長 佐々木信行氏による、「災害時におけるアマチュア無線の役割」と題した講演が行われました。

次に、アイコムと八重洲無線から、「新製品の紹介と解説」がありました。

続いてお待ちかねの抽選会が行われ、その後、来年度の中国地方ハムの集い2017の開催地の山口県支部長から、閉会挨拶と、来年度の集いへの歓迎挨拶などが行われ、16時頃お開きとなりました。

なお展示室では、JARL入会金免除の入会受付・会費受付コーナー、中国総通による「電子申請・届出システム Lite」のユーザー登録の受付・相談コーナー、メーカーによる展示・カタログ配布・相談コーナー、販売店・業者による展示即売コーナー、ジャンク市コーナー等々が設けられ、多くの方々に賑わいました。

このつどいの模様は、7月26日付山陽新聞で報道されました。

(出稿 JA4KI)

◎JA4BLO出羽吉次 OM がお亡くなりになりました

元クラブ員JA4BLO出羽吉次さんが、7月17日に96歳の天寿を全うされてお亡くなりになりました。

OMは元帝国海軍の通信兵で、クラブ員の電信の勉強のために、毎週土曜日の夜に自宅で「出羽塾」を開講され、電信が必要な資格の取得に尽力されました。

元JARL評議員・JARL養成課程講習会電気通信術講師で、多くの後進の指導にも当たられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(出稿 JA4KI)

JARL 第5回 定時社員総会 出席記

J A 4 K I 吉岡 謙

今年度のJARL第5回定時社員総会は、6月26日(日)13時から、東京都新宿区西新宿4-15-3、ベルサール西新宿で開催されるとの会長よりの6月1日付けの通知が6日に来た。会場は、昨年と同じところである。

今回の社員総会は、今年春の選挙で選出された社員によって行われるのではなく、一昨年の2014年春の選挙で選出された社員によって行われる最後の総会である。

当日は、梅雨の最中なので雨を心配したが、持っていた折り畳み傘の出番はなかった。

新宿へ昼頃に着いて、JR新宿駅西口へ出て、都営地下鉄大江戸線の新宿西口駅から地下鉄に乗って都庁前駅で下車したが、総会場に近い「A5」出口で地上へ出るまでが、階段が多くてかなり遠く閉口した。

地上へ出て、今までは新宿中央公園を横切って熊野神社の参道の前にある横断陸橋で十二社(じゅうにそう)通りを渡って、会場がある建物へ行ったのだが、今年は、多くの階段を避けるために、A5出口で地上へ出て右折し、そのまま直進して、十二社通りへ出て会場へ行った、

会場である8階のRoom 6の社員総会の受付へは、12時半過ぎに到着して、胸に付けるネームプレートや座席表を受け取って会場へ入った。

この建物の資料や、受付時に配布された座席表によれば、会場のフロアは、短辺13.6m×長辺27.2m 面積約380㎡で、その短辺の北西側に南東を向いて理事者や事務局員が座っており、社員は理事者や事務局員に向き合って横6脚×縦10~11脚並べられている長机に、一脚に二名ずつ着席する様になっていた。私の席は、左から3列目の右側で前から9番目(後ろから3番目)で、私と同じ机の左隣はJA5WWP/3山口さんだったが、社員総会が終わるまで姿は見えなかった。

JARL Webに6月27日に掲載された社員総会結果の一枚目の写真で、手前の二人の女性の右側の女性から前に女性を含めて5人目に座っている白髪頭の淡いブルーのチェックのシャツが私である。

左側は全面ガラス窓で町並みが見える。右側のドアの外は廊下で、廊下のガラス窓越しには、この会場へ来る途中に右手に観た新宿中央公園の森が見える。

社員席の後ろには、傍聴席や報道関係者の席が用意されていた。

12:45頃に、事務局から発言があり、これから平成27年度会員増加支部の表彰式を行うので、被表彰支部の代表者は前に出るよにとのことだった。

新しいJARLになってからは、それまで総会の度に行われていた表彰式が無くなっていたが、その表彰式が復活して12:50から表彰式が行われた。

表彰対象支部は、平成27年度中に支部会員が増加した24支部で、会員増加数上位3支部の代表が、受賞24支部を代表して表彰状を会長から受領した。わが岡山県支部は、年間を通しての会員の増減が±0で、受賞はなしだった。

13時に事務局から開会について発言があり、JA7A IW山之内会長より開会挨拶が行われた後、議長にJA1STY鈴木氏、副議長にJH1NLL安部氏

が指名され、議長団が議長席に着席した。

事務局から本日の社員の出席状況について

議決権を有する総社員の数	1 2 7 名
総社員の議決権の数	1 2 7
本日 12 時 50 分現在の出席社員の数	1 1 6
議決権行使書面による出席社員の数	4
委任書面による出席社員の数	1
同時刻時点での出席社員数計	1 2 1

との報告があった。

J A R L 定款 3 7 条の規定により、議長はこの社員総会への出席社員は、総社員の議決権の過半数の 6 4 名を超えて定足数を満たしているとして、第 5 回定時社員総会の成立を宣言した。

この後議長より、書記に J A R L 事務局高橋 壮総務部長、議事録署名人に J H 5 Q H O 藤戸氏、J A 6 V Q A 田上氏、J A 7 U Q B 佐藤氏の 3 名を指名した後、議事進行に際しての注意事項の伝達が行われ、議案の審議に入った。

第 1 号議題の平成 2 7 年度決算の件を、J A 1 S L S 玉眞専務理事が詳細に説明し、続いて監事の J A 3 D K W 永井氏と J A 1 R T G 松村氏より、4 月 2 2 日に行った監査結果の報告があり、会計及び理事の職務執行に関して定款規則等に照らして妥当であるとの報告が行われた。

その後質議に入り、社員から提出されていた準備書面から先に行われた。準備書面は全部で 3 6 通、総ページ数 1 2 1 ページが提出されており、中には 1 通で A 4 サイズで 3 4 ページに及ぶものもあって、議長はそれらの全てに予め目を通して内容をまとめ、第 1 号議案に関係があるもののみについて理事者からの回答を求めている、大変な作業だったと思った。

事務局からの回答の後には、準備書面を提出した社員からの再質問や、準備書面を提出していない社員からの質疑応答が行われ、挙手による採決の結果、第 1 号議案は 14:53 賛成多数で可決された。

約 8 分の休憩の後、1 5 時少し過ぎより、第 2 号議題の役員選任の件について J A 7 A I W 山之内会長から説明があり、理事と幹事に選任される者の略歴が記された資料が配付されたが、この資料は、個人情報のため持ち出し不可で、資料には閲覧した者のコールサインと氏名を所定欄に記入して、採決終了後事務局員により回収された。

質疑が終了後、議長から採決方法について説明があり、15:27 から選任予定者についての採決が行われたが、今回の当選者の中には、選任を拒否する必要がある人物は見られず、一人ずつについて挙手によって採決が行われ、15:34 提案どおり全役員が承認された。

続いて第 3 号議題の定款変更の件は、J A 7 A I W 山之内会長から説明されたが、その説明が誠によろしくなかった。私が思うには、まず名誉会長職を置く必要性から始めて、名誉会長になれる方の条件は、どのような人物で、どのような業績をあげられて、どのようにアマチュア無線界のために尽くされて、アマチュア無線家は、それらによって、どのような恩恵を受ける事ができたのかなどについて評価されるという事を述べてほしかったと思う。過去の会長時代の、多くの業績を披露して、我々アマチュア無線界に、多大な利益をもたらして下さった

功績のことについては殆ど述べられず、単に読売新聞に出た記事が、アマチュア無線界のPRに大きく寄与したという説明にしか社員の多くには理解されず、名誉会長職とはかなり乖離した説明では、社員を納得させることはできなくて、誠に残念なことであるが、採決の結果賛成者は58名にとどまって、定款改正に必要な議決権数の2/3の85名に達することはできず、16:00 否決されてしまった。

以上で社員総会の議事は全て終了した。

その後議長が副議長と交代して報告事項に入り

- (1)平成27年度事業報告
- (2)平成28年度収支予算
- (3)平成28年度事業計画

の3項目について事務局から説明された。

これらに関しても、準備書面による質問を中心にして、質疑応答が行われたが、以前のJARL総会出席記に、私がよく書いていたように、何も社員総会で質問や発言をしなくても良いようなことがかなりあって、内容によっては、以前のJARL総会よりひどくなっているようにさえ感じた。

17:29 になって、議長の最初の予定時刻より29分遅れで終了したが、その後、突然1・2エリアの席から、「もう終わったんですか？」ととぼけた発言をした者がおり、副議長はやむを得ずその社員に喋らせて、17:33 に「大変ご苦勞様でした、第5回定時社員総会全議事を終わりました。どうぞお気を付けてお帰り下さい。」との副議長の声に送られて、会場の社員達は次々と会場を後にした。

エレベーターで一階に降りたら、エントランスホールへJA1BIR (ex JA4HA) 赤木さんが居られた。社員総会の傍聴に来られた帰りかと話しかけると、彼は私が出て来るのを待っていてくれたのだという。一緒に会場のある建物を後にして、来たときの逆コースで、地下鉄都庁前駅から大江戸線に乗り、新宿西口駅に着くまで、色々とお話をし地下鉄の改札を出たところで、お互いの健康を祈りながらお別れした。私は、なにがしの買い物をして、今夜の宿へ向かった。

私は、東京の日赤本社講堂で開催された、1959年の社団法人JARL設立総会から、社団法人では最後の、大阪の池田市民文化会館での2011年の第53回JARL通常総会まで、臨時総会を含めて54回・53年にわたる総会と、2012年から今年2016年までの5回・5年にわたる社員総会に、合計58年間連続して出席したが、総会出席はこれで終わりになった。

我が家内JG4SFJの名(迷)言の、「お父さんが、これほどJARL総会へ行かなかつたら、家の一軒も建ったかも知れない。」は、もう言われずに済む。Hi

今年春のJARL役員選挙には、私は今年で80歳になるので立候補しなかったが、その為に多くの方々から、色々のご心配をいただいたことに深謝したい。

この「出席記」は、JARL中国支部(今の地方本部)が岡山にあった1962年に、支部長(今の地方本部長)JA4AI OMからの指示で、支部報の記事として、その年に名古屋市公会堂で開催された第4回JARL通常総会出席記を出稿したのが始まりで、その後1966年に中国支部が広島に移ってからは、私が所属するJARL倉敷クラブ報に掲載されるようになったものであり、クラブメンバー以外の方々には、原稿の別刷りをご覧いただいた。

55年の長きにわたったこの「出席記」を終わるにあたり、関係の多くの方々へ深くお礼申し上げるとともに、今後のご清栄をお祈りするばかりである。